

<h1>SDT</h1>	<h2>制振工学研究会通信</h2> <p>SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS 2018年12月号</p>	<p>2018年12月 1日発行 編 集：会報編集委員会 編集責任者：小白井 敏明 担 当 者：山口 道征 URL http://www.sdt-jp.com</p>
--------------	--	---

◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-Mail: yamagu@pc.highway.ne.jp

◇研究会の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	内 容
18. 12. 20	東京都立産業技術研究センター本部 (東京都江東区)	制振工学基礎講座(第2回)	乗用車の振動工学
18. 12. 21	東京都立産業技術研究センター本部 (東京都江東区)	定例会-2018 技術交流会-	基調講演、一般講演、懇親会

◇分科会・WG・委員会の予定

開催日時	開催地・会場	名 称
18. 12. 12 15:00~18:00	日本音響エンジニアリング(株)	材料技術分科会
18. 12. 14 15:00~18:00	Sion Inc.(株)東京サウ	振動音響解析WG

◇会員消息 (2018年12月 1日現在)

○会員数		○入・退会者
法人会員	25 社	-
個人会員	41 人	-
学生会員	1 人	-

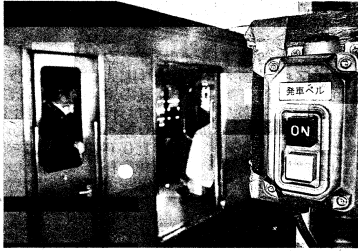
◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	主催団体及び内容
18. 12. 07	工学院大学アーバンテックホール (東京都新宿区)	次世代自動車に秘められた思いと 振動騒音技術	自動車技術会 http://www.jsae.or.jp/news/detail.php?id=486
18. 12. 13- 14	化学会館7階ホール (東京都千代田区)	第38回レゾナンス講座 -基礎と測定法-	日本レゾナンス学会 http://www.rsj.or.jp/library/593e2f9632382f4b7a528679264f23e083ca4945b607.pdf
18. 12. 14	東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)	第113回技術講習会 低周波音の基礎と実習・体験	日本騒音制御工学会 http://www.ince-j.or.jp/course
18. 12. 19	日本機械学会会議室 (東京都新宿区)	納得のロータ振動解析:講義+HIL実験	日本機械学会 https://www.jsme.or.jp/event/2018-33027/

◇技術情報

(朝日新聞夕刊より 2018. 11. 13)

(次ページに続く)



発車メロディーを流すのに、ホーム上のスピーカーを使わず、車両備え付けのスピーカーを操作する車掌＝JR金町駅

駆け込み乗車 防ぐ

音

音量は控えめにしたり、発車音から接近音に切り替えたり。事故やダイヤの乱れにもつながる駆け込み乗車を防ぐべく、鉄道各社がホームで流すメロディーの見直しに取り組んでいる。発車間際のけたたましい音は客を焦らせ、駆け込みを誘発するとの指摘があるためだ。さて効果は――。

東京メトロ千代田線と直通し、千葉、茨城方面と都心部を結ぶJR常磐線。上り電車が江戸川を越え、金町駅(東京都葛飾区)に滑り込んできた。ところが、車掌は車内から身を乗り出して乗降が終わるのを見極めながらも、ホーム上に設けられた「発車ベル」ボタンには近寄らない。

「発車」ではなく、「接近」を知らせようという取り組みも広がっている。東京都世田谷区の小田急大師ヶ谷大蔵駅。ホームにウルトラマンのテーマが流れると、ベンチの学生たちはスマホから顔を上げて立ち上がった。まもなく、電車が滑り込んできた。

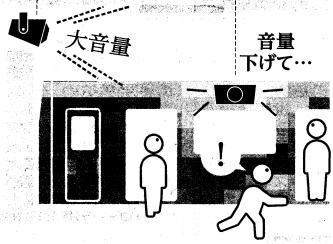
音階上げれば上り

小田急電鉄は06年、ウルトラマンを生み出した円谷プロダクション旧日本社が近くにあったことにちなみ、初めて「接近メロディー」を同駅に導入。現

朝の通勤ラッシュ時、同線の混雑率は154%(2017年度)。これまでは高架下にある改札にまで響く発車メロディーを聞きつけ、あわてて駆け込んでくる客も珍しくなかった。実験は、メロディーが聞こえる範囲を車両近くに限定することで、駆け込み乗車を減

「音」を変えて 駆け込み乗車を防げるか

ホームのスピーカー → 車外スピーカー



JR東日本の実験のイメージ。私鉄では、発車ベルを使わず、接近を知らせるメロディーを導入する動きも

小さく 客を慌てさせない 早めに 接近時にメロディー前倒し

在は8駅で、地元ゆかりの曲で電車の到着を知らせている。その一方で、発車を知らせるベルや笛は原則使っておらず、判断は車掌に委ねている。「乗降がスムーズに進めば発車を知らせる必要もない。『扉が開まります』の放送をしない場合もある」という。

相模鉄道は沿線にキャンパスを構えるフェリス学院大学と協力し、いずみ野線緑園都市駅(横浜市泉区)で17年3月から、改札付近で流す接近メロディーの音階で電車の上り下りも種類を判別できるようにする実験が続いている。曲が進むにつれて、音階が上がっていき、下がれば下り、テンポが速ければ快速、遅ければ各停だとわかる仕組みだ。

メロディーは改札で聞いてから、歩いても電車に間に合う長さに調整。駆け込み乗車は減っているといい、他の駅への拡大を検討している。

遅延防止をめざす

駆け込み乗車は危険なうえ、ダイヤの乱れも引き起こす。国土交通省が昨年、東京圏の各路線で平日に起きる10分未満の遅れの原因を分析したところ、駆け込み乗車などが招く「ドアの再開閉」は16%で2位。1位の「乗車時間超過」(47%)と合わせ、乗降マナーが大きく関係する「利用者起因」が6割を超えた。

関東の鉄道会社26社は今年4月、初めて合同で駆け込み乗車防止キャンペーンに取り組んだ。ある鉄道会社は「相互直通が広がり、1路線の遅れが一気に他路線に波及するようになった。遅延防止も一緒に取り組みたい」と話している。(細沢礼輝)

事務窓口

〒104-0061 東京都中央区銀座 2-10-18 一般社団法人 日本合成樹脂技術協会

Tel. 03-3542-0261

Fax. 03-3543-0619

URL <http://www.sdt-jp.com>